

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【公開番号】特開2002-215084(P2002-215084A)  
 【公開日】平成14年7月31日 (2002.7.31)  
 【出願番号】特願2001-8477(P2001-8477)  
 【国際特許分類】

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 J 11/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/28 H

G 0 9 G 3/20 6 1 1 A

G 0 9 G 3/20 6 2 1 G

H 0 1 J 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月28日 (2008.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電圧パルスの立ち上がり、立下りに LC 共振を用いたプラズマディスプレイパネルの駆動方法において、前記 LC 共振の振幅を制御することにより前記電圧パルスの立ち上がり、または立ち下り時に放電を生じさせる駆動方法であって、電荷回収用コンデンサのパネル側の端子をクランプする電圧を負荷率によって制御することを特徴とするプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 2】 負荷率が高くなるに従い、電荷回収用コンデンサのパネル側の端子をクランプする電圧を高くすることを特徴とする請求項 1 記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 3】 電圧パルスの立ち上がり、立下り時間を負荷率によって制御することを特徴とする請求項 1 記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 4】 電圧パルスの立ち上がり、立下り時間を負荷率が低くなるにしたがって長くすることを特徴とする請求項 1 記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 5】 電圧パルスの周波数が 200 kHz 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 何れかに記載のプラズマディスプレイパネルの駆動方法。

【請求項 6】 プラズマディスプレイパネルを請求項 1 ~ 5 何れかに記載の駆動方法で駆動するプラズマディスプレイ装置。

【請求項 7】 放電セルの大きさが非対称であることを特徴とするプラズマディスプレイパネルを請求項 1 ~ 5 何れかに記載の駆動方法で駆動するプラズマディスプレイ装置。

【請求項 8】 赤、緑、青に発光する蛍光体を塗布した放電セルからなるプラズマディスプレイパネルであって、少なくとも青の蛍光体を塗布した放電セル空間が他のセルよりも広いことを特徴とする請求項 7 記載のプラズマディスプレイ装置。

【請求項 9】 維持放電電極に分割された微細電極群を用いたプラズマディスプレイパネルを請求項 1 ~ 5 何れかに記載の駆動方法で駆動するプラズマディスプレイ装置。